Matsumoto Medical Center

2009 7
7号

独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization

Matsumoto Medical Center

まつもと医療センター

理念
いのちの尊さを重んじ、質の高いやさしい医療を提供します

◆看護師就職説明会 …… 2
◆看護の日イベント ～1日街の保健室 …… 3
◆松本病院 ～市民公開健康講座 …… 4
◆松本病院 ～フットケアについて …… 5
◆アトピー性皮膚炎のステロイド外用薬の使い方 ～最近の診療トピックス …… 6
◆なかむらクリニックご紹介 …… 8
◆共同診療とMRI …… 9
◆おしらせ …… 10

ポピーと東山　松本市内田

まつもと医療センターには総勢320名の看護職員が働いています。看護職員は外来や病棟で、患者さんの看護にあたる他にも、さまざまな行事を開催するなどして、地域の皆様の健康に貢献する努力をしています。

今回は、看護部によるふたつのイベントを紹介します。

看護師長勢揃い！
安全で安心な誠意ある看護を心がけています。

看護師就職説明会

副看護部長
島内（しまうち）　俊子（としこ）

昨年末から世の中は就職難が続いていますが、医療の現場では人員不足という状況が今なお持続しています。特に看護師確保は年々厳しさを増しています。このような中、まつもと医療センターは、今年度も4月24日に千葉県幕張メッセにおいて関東信越地区国立病院機構の附属看護学校10校の学生を対象にした「看護学生フォーラムのプログラムの一環として病院説明会」に参加しました。1都10県の国立病院機構病院35施設がそれぞれのブースで、病院が提供している医療や病院設備、概要、看護体制などをポスター掲示やプロジェクター等を利用し効果的にインフォメーションし、県外の看護学校を卒業し長野県で就職を希望する看護学生が当センターを選んでくれることを期待し説明会に臨みました。

説明内容は、卒業後社会人となり、職場環境にスムーズに溶け込むことができるような支援体制や専門職として成長できる院内教育体制など細やかな説明をして関心を引くように心がけました。また先輩からの具体的な情報や他職種との関係（特に医師）なども興味があるようで質問されることがあり、前年度の卒業生も一緒に説明に加わりました。

説明会には、院長、看護部長、副院長、事務部長、新人看護師、医師など職員一丸となり参加しセンターのPRを行うため、帰属意識がより高まる年間行事になっています。今回は当センターのブースに100名ほどの学生がおとずれ真剣に説明を聞いてくれたためか参加した職員からは早速「次年度はプリセプター（新人の教育担当者・技術指導だけでなく精神的支援も担当します）を多数選ばなければ」と取らぬ狸の皮算用まででてきました。

今年度の就職説明会は始まったばかりで、今後も全国の地域に足を運び一人でも多くの看護師が当センターに就職しこの地域で看護力を発揮してくれることを期待しています。

看護の心をみんなの心に

看護の日イベント

1日街の保健室

副看護部長
岡田（おかだ）　裕子（ゆうこ）

まつもと医療センターでは5月9日（土）に看護の日のイベントを開催しました。昨年度までは松本病院、中信松本病院のそれぞれで企画、運営を行っていましたが、今年度からは、まつもと医療センターとして取り組みました。当センターは2つの病院での連携を取りながら、がん（消化器、血液、呼吸器）、消化器の外科・内科、糖尿病等の一般内科、小児科、神経内科、整形外科等の医療に取り組んでいます。そこでまつもと医療センターらしい看護の日にするために考え、地域の皆様に喜んでいただけるように無料の「一日街の保健室」を計画しました。テーマは「看護の心をみんなの心に」目的は、地域の皆様と触れ合い自分自身の身体状況について知っていただき、健康についての理解と関心を持っていただくとしました。当日は看護部約30名、医師、臨床検査技師、管理栄養士、事務部の総勢40名が参加しました。会場は病院から車で10分程離れた、塩尻広丘のショッピングセンター「GAZA」の1階広場をお借りしました。保健室の内容は、看護師は血圧、身長・体重・体脂肪測定、血糖測定、がんの緩和ケアについての相談コーナー、検査技師は骨密度測定、管理栄養士は糖尿病・高血圧の食事療法、医師はそれぞれの測定値からの問題や日々の生活の中での医療相談を担当しました。その他に、子供用にバルーンアート、看護師白衣体験コーナーも設け、翌日が母の日であることから、幼い時の記念にお子さんに白衣を着ていただき、記念写真を撮り手渡しました。当日は好天に恵まれ、ポスターの掲示、店頭でのチラシ配布などの宣伝の効果もあり、開催と同時にたくさんの方が訪れ、3時間で約140名の来場がありました。来場者からは「病院に行かなくとも健康チェックを受けられるのはうれしい、健康がわかって気持ちが落ち着く」「病院に行って血圧を測っているが、看護師さんに聴診器で測ってもらうと安心する」「医師にも相談できる」「昨年も来ました」と喜びの声を聞くことができ、地域の皆様に健康についての関心を持っていただくことができました。医療従事者として病院内だけの勤務だけではなく地域に出て地域の方たちと直接触れあい、声を聞くことで、医療者としての喜びややりがい感が参加者の笑顔にたくさんあふれていました。また2つの病院、他部門、イベント委員以外の多くの方の参加があり、皆で協力したことで職員間の連帯感も強くなりました。これからも次回に向け、アイディアを出し、地域の皆様に貢献できる取り組みを行い、一日街の保健室の定着を図っていきたいと考えています。

看護の日ってなあに？ナイチンゲールってどんな人？

看護の日とは、看護に対する社会の理解を深めようと制定された記念日。19世紀中盤に、裕福な家庭に生まれながら、自ら志願してクリミア戦争に従軍した看護師フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで制定されました。

ナイチンゲールは戦場での働きぶりから「クリミアの天使」と呼ばれ、その精神は現代においても、看護の仕事をする者から尊敬され、大切にされています。本人の言葉として知られる「天使とは、美しい花をまき散らす者でなく、苦悩する者のために戦う者である」が表すように、冷静な意志を持って、病院の環境改善や看護師養成体制の整備を行い、その理論は150年の時を経てなお、多くの示唆に富んでいると言われています。

市民公開講座2009を終えて

当院では、2007年からがんに主眼をおいて、市民公開講座を行ってきました。昨年は〈がんの疫学と内視鏡治療〉〈乳がんと消化器がん〉〈がんの告知と緩和ケア〉を3回にわたって行いました。今年は〈がんについて、知ろう、語ろう、考えよう〉をテーマに、4月18日（土）、5月16日（土）、6月20日（土）の3回にわたって行われました。第1回は古田清医師と小林正和医師による〈肝炎と肝がん〉を、第2回は矢満田健医師による〈肺がん〉を、第3回は宮林秀晴医師と小池が〈大腸がん〉についてお話ししました。以下、簡単に内容をまとめます。

〈肝炎と肝がん〉

B型肝炎、C型肝炎の感染から肝炎、肝硬変を経て肝がんが発生する様子について、インターフエロンを含めた肝炎の治療について、肝がんと診断された場合の治療方法の選択（手術、肝動脈塞栓術、ラジオ波焼灼術、エタノール）と成績について説明がありました。

〈肺がん〉

喫煙に伴い、肺がんのリスクがあがること、肺がんの多くが無症状であることから検診が大切であること、胸部写真や、CT画像による肺がんの提示、治療として手術、放射線、化学療法について具体例を交えてわかりやすい説明がありました。

〈大腸がん〉

大腸がんは最近増えています。比較的簡単にスクリーニング可能な便潜血反応、大腸内視鏡検査によるポリープと癌の関係について、手術や化学療法の進歩について具体例を示しながらお話ししました。

これでいわゆる5大がんである、胃がん、大腸がん、肝がん、肺がん、乳がんについて一通りお話ししたことになりますが、毎回参加者の顔ぶれが変わるので、いずれの回のアンケートでもそこで話されたがん以外のがんについての質問が多く見受けられました。回を追うごとに参加者からの質問や、発言も活発になり、できれば数を増やしていろいろなテーマについて聞きたいとか、メディアなどの媒体を介しての再放送を望む声もありました。これらのご意見は今後の参考にしていきたいと思います。今回から会場にソーシャルワーカーも待機し、個別の相談もお受けしました。一方的な講義でなく、双方向のコミュニケーションをとりながら、来年もグレードアップした内容でお送りしたいと思います。

救急医療部長　小池（こいけ）　祥一郎（しょういちろう）

「糖尿病フットケア外来」をご利用下さい

平成20年11月より糖尿病フットケア外来（糖尿病合併症管理料170点）を始めています。現在のところ、毎週火曜日の13：00～17：00のひとり1時間4枠として、松本病院連携室で予約を受け付けています。対象となるのは、(1) 糖尿病神経障害（自覚症状・アキレス腱反射・振動覚の2つ以上所見あり）(2) 閉塞性動脈硬化症 (3) 足潰瘍、足趾・下肢切断既往のいづれかを有する糖尿病足病変ハイリスク外来患者さんです。

糖尿病フットケア外来は、専任の看護師（現在2名）が担当していますが、問診と診察（神経障害、血流障害、足変形、皮膚病変、靴など）、足病変リスクの評価、そして足浴、胼胝・鶏眼の処置、爪切りを行い、日常生活についての指導をしています。必要に応じて皮膚科医師に診察処置を依頼し、治療の継続または1年に1回程度のフットケアチェックを行うことをお勧めしています。また総合フットケア外来として、糖尿病外来が窓口となり、閉塞性動脈硬化の評価や栄養管理室、リハビリテーション科、他科との連携をとり、総合的な管理が行えるように体制を整えているところです。

また、6月30日（火）18：30～松本東急インにて、今回は主に看護師を対象として、糖尿病フットケア研究会を開催するなど今後も地域医療連携強化に、少しでも寄与できるよう努めています。

糖尿病フットケアスタッフ一同

（文責　外来診療部長　青木　雄次）

最近の診療トピックス(15)

リレー形式

アトピー性皮膚炎のステロイド外用薬の使い方

アトピー性皮膚炎は遺伝的素因も含んだ多病因性の疾患であり、疾患そのものを完治させうる薬物療法はありません。そのため、対症療法を行い、症状を適切にコントロールすることが原則となります。

ここでは、アトピー性皮膚炎のステロイド外用療法について、主に日本皮膚科学会アトピー性皮膚炎診療ガイドライン(2008年3月、http://www.dermatol.or.jp)に基づいて述べます。

現時点でアトピー性皮膚炎の炎症を十分に鎮静しうる薬剤で、その有効性と安全性が科学的に立証されている薬剤は、ステロイド外用薬とタクロリムス軟膏（免疫抑制剤）です。その他、非ステロイド系消炎外用薬がありますが、抗炎症作用は極めて弱く、接触皮膚炎を生じることがまれではなく、自然免疫抑制作用のためにアトピー性皮膚炎の発症を促進したり、増悪させたりする可能性も指摘されており、使用されることが少なくなってきています。

ステロイド外用薬の使用法

(1)ステロイド外用薬は、症状、部位そして年齢で使い分けます（表1）。例えば、成人の重症例にはベリーストロングないしストロングクラスを第1選択とし、症状が明らかに改善したらランクを落とします。小児は原則としてストロングクラス以下の薬剤を使用しますが、効果が得られない場合は十分な管理のもと、高いランクのステロイド外用薬を使用します。また、顔面は薬剤吸収率が高いため、原則としてミディアムクラス以下のステロイド外用薬を使用します。

(2)外用回数と外用量

急性増悪の場合には、1日2回（朝と入浴後）外用が基本です。一方、ストロングクラス以上のステロイド外用薬では、3週間後以降の治療効果は、1日1回外用でも、2回外用に劣らないことが報告されています。副作用を少なくするためにも、急性期にはステロイドを十分に外用することで、症状を早く軽快させ、軽快したら1日1回外用とするのがよいと考えられます。ただし、マイルドクラスの場合には1日2回外用のほうが1回外用よりも有効です。

外用量の目安としてfinger tip unit(FTU)(図1）があります。第2指の先端から第1関節までチューブから押し出した量（約0.5g）が、成人の手で2枚分ないし顔面に相当する量です。皮疹の面積によりますが、通常の成人患者では十分量である1日5～10g程度の外用量から開始し、症状に合わせて漸減するのがよいでしょう。

(3)外用中止：急激に中止せず、症状をみながら

NHOまつもと医療センター
中信松本病院 外来医師担当表

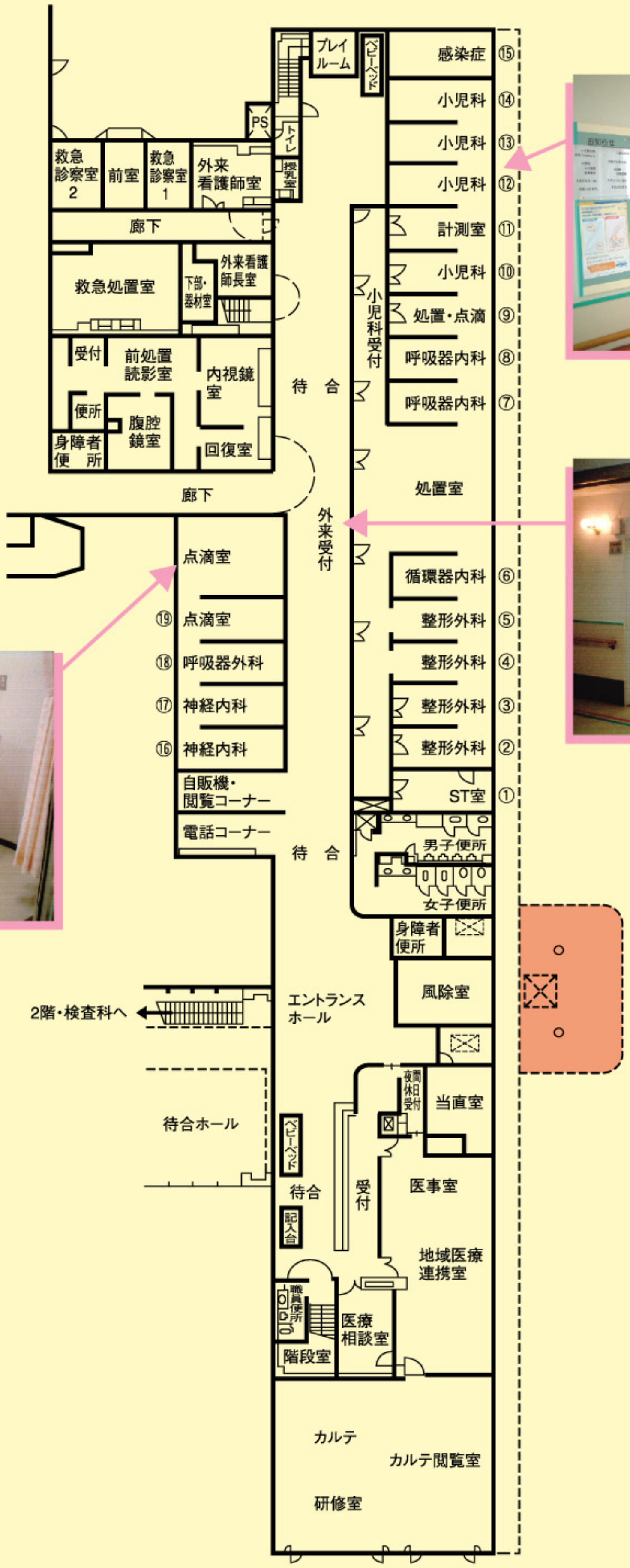
平成21年7月1日現在

診療科名	疾患名(扱う病気)		月	火	水	木	金
小児科	小児科全般 (感染症、神経、血液、免疫・アレルギー、循環器、川崎病、腎臓、内分泌、肥満、発達障害、心身症、不登校、乳幼児健診・予防接種、重症心身障害)	午前	岩崎　康 倉田研児 永春幸子	山田慎二 竹内さつき 花村真由	北原正志 石田修一 倉田研児	岩崎　康 花村真由 永春幸子	北原正志 山田慎二 竹内さつき
		午後	岩崎　康 北原正志	石田修一 倉田研児 永春幸子 山田慎二	竹内さつき 花村真由	岩崎　康 山田慎二 石田修一	予防接種
呼吸器内科	呼吸器系の急性(肺炎など)、慢性(肺繊維症など)の病気、肺がん、肺結核	午前	小山関哉 吉川佐和子	早坂宗治	坂口伸樹 吉川佐和子	小山関哉 斉藤千代子	早坂宗治 坂口伸樹
	禁煙外来		予約のみ 吉川佐和子				
消化器内科	消化管、肝臓の病気	午前		予約のみ 小林正和			
神経内科	脳神経、筋肉の異常が原因で起こるふるえ・しびれ、筋肉のやせ、もの忘れ、けいれん、意識障害	午前	大原慎司 小口賢哉	武井洋一 腰原啓史	大原慎司 武井洋一	大原慎司 武井洋一	腰原啓史 小口賢哉
循環器科	冠動脈疾患、心不全、不整脈、弁膜症、心筋疾患、大動脈疾患先天性疾患等	午後				予約のみ 関　年雅	
呼吸器外科	肺がん、気胸、膿胸、縦隔腫瘍などの外科治療	午前	矢満田　健	矢満田　健		矢満田　健	
整形外科	腰痛、肩こり、神経痛、関節痛、骨粗しょう症、外傷や骨折の外科治療、人工関節手術、肩関節手術	午前	若林真司 小林博一	小林博一 君塚康一郎	若林真司 鈴木周一郎 原　一生	小林博一 薄井雄企	若林真司 鈴木周一郎
		午後	予約のみ 若林真司 予約のみ 小林博一				

1. 受付時間　　8：30～11：30
2. 予約及び予約変更の受付　14：00～17：00　※各科外来へお願いします。
3. 休診日　　土日曜日、祝日、年末年始

TEL 58-3121
FAX 86-1400

中信松本病院１階診察室配置図



正面玄関

小児科

外来受付

点滴室

漸減または間欠投与を行い、徐々に中止します。

⑷コンプライアンス…ステロイド外用薬に対する誤解（ステロイド内服薬の副作用との混同、およびアトピー性皮膚炎そのものの悪化とステロイド外用薬の副作用との混同など）から、ステロイド外用薬への恐怖感や忌避が生じます。その誤解を解くために、十分な診察時間をかけて説明指導することが必要で、それが治療効果を左右します。

⑸ステロイド外用薬の副作用…密封外用療法では0.12％ベタメタゾン吉草酸エステル軟膏（ストロングクラス）の10g外用、単純外用ではその20gが、副腎機能抑制を生じうる1日外用量であると報告されています。しかし、このような多量の外用を日常診療で継続して行うことはまれです。ステロイド外用薬を適切に使用すれば、内服薬でみられるような全身的副作用は起こりえません。局所副作用のうち、ステロイド痤瘡、ステロイド潮紅、皮膚萎縮、多毛、細菌・真菌・ウイルス性皮膚感染症などは時に生じることがありますが、中止あるいは適切な処置により回復します。ステロイド外用後に色素沈着がみられることがありますが、皮膚炎の沈静後の色素沈着であり、外用薬によるものではありません。

その他、アトピー性皮膚炎の外用療法では、タクロリムス軟膏やスキンケアのための保湿剤なども重要です。これらの外用薬と組み合わせながら、ステロイド外用薬を症状に合わせて適切に使用することで、アトピー性皮膚炎を上手にコントロールしましょう。

表1

ステロイド外用剤のランク

ストロンゲスト	
0.05%	プロピオン酸クロベタゾール（デルモベート®）
0.05%	酢酸ジフロラゾン（ジフラール®、ダイアコート®）
ベリーストロング	
0.1%	フランカルボン酸モメタゾン（フルメタ®）
0.05%	酪酸プロピオン酸ベタメタゾン（アンテベート®）
0.05%	フルオシノニド（トプシム®）
0.064%	ジプロピオン酸ベタメタゾン（リンデロンDP®）
0.05%	ジフルプレドナート（マイザー®）
0.1%	アムシノニド（ビスダーム®）
0.1%	吉草酸ジフルコルトロン（テクスメテン®、ネリゾナ®）
0.1%	酪酸プロピオン酸ヒドロコルチゾン（パンデル®）
ストロング	
0.3%	プロピオン酸デプロドン（エクラー®）
0.1%	プロピオン酸デキサメタゾン（メサデルム®）
0.12%	吉草酸デキサメタゾン（ボアラ®、ザルックス®）
0.1%	ハルシノニド（アドコルチン®）
0.12%	吉草酸ベタメタゾン（ベトネベート®、リンデロンV®）
0.025%	プロピオン酸ベクロメタゾン（プロパデルム®）
0.025%	フルオシノロンアセトニド（フルコート®）
ミディアム	
0.3%	吉草酸酢酸プレドニゾロン（リドメックス®）
0.1%	トリアムシノロンアセトニド（レダコート®、ケナコルトA®）
0.02%	ピバル酸フルメタゾン（ロコルテン®）
0.1%	プロピオン酸アルクロメタゾン（アルメタ®）
0.05%	酪酸クロベタゾン（キンダベート®）
0.1%	酪酸ヒドロコルチゾン（ロコイド®）
0.1%	デキサメタゾン（[illegible]）
ウィーク	
0.5%	プレドニゾロン（プレドニゾロン®）
1%	酢酸ヒドロコルチゾン（コルテス®）

日本皮膚科学会アトピー性皮膚炎治療ガイドライン2004改訂版（古江増隆ほか）より引用改変

図1

九州大学医学研究院皮膚科　古江増隆先生の市民公開講座より引用

皮膚科医長　新倉（あらくら）　冬子（ふゆこ）

NHOまつもと医療センター

松本病院 外来診療表

平成21年7月1日 現在

診療科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
総合	0	妹尾紀子	小松範也		高橋文子	森田 進	
内科	1					小林信彦 （腎臓）	
内科	2	熊谷美恵子 （糖尿・内分泌）	青木雄次 （糖尿・内分泌）	青木雄次 （糖尿・内分泌）	熊谷美恵子 （糖尿・内分泌）	青木雄次 （糖尿・内分泌）	
内科	3	関 年雅 （循環器）	矢崎善一 （循環器）		堀込充章 （循環器）	矢崎善一 （午後の診療のみ）	
内科	5	松林 潔 （消化器）	宮林秀晴 （消化器）	松林 潔 （消化器）	相澤 徹 （糖尿・内分泌）	宮林秀晴 （消化器）	
内科	6	百瀬佳代子 （血液）	上條 敦 （血液）	酒井 均 （血液）	百瀬佳代子 （血液）	酒井 均 （血液）	
内科	7	小林正和 （肝臓）	仁科さやか （血液）			小林正和 （肝臓）	
内科	8	古田 清 （肝臓）		松田賢介 （消化器）	古田 清 （肝臓）	松田賢介 （消化器）	
内科	専門	冠スク外来 堀込充章 （午前のみ予約制） 禁煙外来 青木雄次 （予約制）	心不全外来 矢崎善一 （午後のみ予約制）	北野喜良 （予約制） 冠スク外来 矢崎善一 （午前のみ予約制）			※冠スク外来 （冠動脈スクリーニング外来）
外科	1	北村 宏	乳腺内分泌外来 金井敏晴（第1,3,5週） 花村 徹（第2,4週）	横井謙太	北村 宏	横井謙太	
外科	2	小池祥一郎	荒井正幸	小池祥一郎	荒井正幸	乳腺内分泌外来 前野一真（第2,4週）	
外科	3		中川 幹			中川 幹	
外科	13-15				ストーマ外来 特殊診療 （予約制）		
脳神経外科		渡辺宣明	渡辺宣明	渡辺宣明	渡辺宣明	渡辺宣明	
脳神経外科	14-15			もの忘れ外来 （予約制）			
皮膚科		新倉冬子	新倉冬子	新倉冬子	徳田安孝	新倉冬子	
皮膚科	午後			アレルギー外来 15時～ （予約制）			
泌尿器科		米山威久	信大Dr	小宮山 斎	小宮山 斎	小宮山 斎	
産婦人科			堀内晶子	信大Dr		野口 浩	
眼科		松尾俊彦	松尾俊彦	松尾俊彦	松尾俊彦	松尾俊彦	火・木曜日のみ 8:30～11:00
眼科		村田暢子	村田暢子	村田暢子	村田暢子	村田暢子	
耳鼻いんこう科		後藤昭信	後藤昭信	特殊診療 （予約診療のみ）	後藤昭信	後藤昭信	火曜日のみ 8:30～11:00
放射線科		越原 浩	越原 浩	越原 浩	越原 浩	越原 浩	
放射線科						篠田充功	
麻酔科 （予約制）		術前外来 新倉久美子	ペインクリニック外来 井上泰朗	術前外来 （交代）	術前外来 新倉久美子	緩和ケア外来 井上泰朗	

（医師交代などで変更する場合があります）

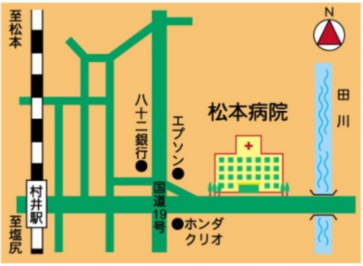
診療受付時間
初診 8:30～11:30 土・日・祝日 休診
但し、耳鼻科・眼科は上記備考のとおり
再診 8:30～11:30 土・日・祝日 休診
但し、耳鼻科・眼科は上記備考のとおり

Tel 86-2812（連携室直通）
Fax 86-2816（連携室直通）

外来診療科案内図

（すべて1階フロアーにあります）

交通案内



NHOまつもと医療センター
松本病院 地域医療連携室

〒399-8701 長野県松本市芳川村井町1209番地
TEL 0263-86-2812 FAX 0263-86-2816

なかむらクリニック紹介

中村（なかむら）　俊幸（としゆき） 先生

〒390-0842　長野県松本市征矢野2-14-15
TEL（0263）25-2526　FAX（0263）25-2528

診療時間

時間／曜日	月	火	水	木	金	土
8:30〜11:30	○	○	休診	○	○	○
14:30〜17:30	○	○	休診	○	○	*○

＊土曜日午後の受付は16:30までです。日曜祝祭日と水曜日はお休みです。

まつもと医療センターの皆様には、いつも大変お世話になっております。

なかむらクリニックの中村です。昨年3月まで6年間、松本病院外科にお世話になっておりましたので、覚えておられる方もまだいらっしゃるかと思います。

全身麻酔の手術には縁がなくなったため、最近は皮膚腫瘍を取ったり、関節注射をしたり、マンモグラフィを撮ったりしながら日々過ごしています。時々患者さんのお願いをしており、大変助かっています。

勤務医の時は、病院を内側からみておりましたが、現在は外部からと、180度反対の立場になりました。一人で診療をしていると、重症？とか精密検査をどうしようか、などといった時に、病院のありがたみ（たのもしさ）といったものを、ひしひしと感じるようになりました。勤務中はあまり感じませんでしたが、まつもと医療センターに対する周囲の期待は非常に大きいものと思います。これからもよろしくお願いします。

さて、宮仕えから自営業になったことで、変わったことがいくつかありました。

診療以外にも経営のことや、人事のことなど頭を悩ますことはつきません。しかし、診療の方向性が自分で決定できるのは良かったことの一つです。日常生活では、楽しく大人数で飲むといった機会も格段に減り、寂しい限りです。昨年末は手術室や、病棟の忘年会に呼んでもらったので、よかったのですが、今年は寂しく12月を過ごすことになりそうです。

最近は、園芸や熱帯魚飼育を始めたり、ジム通いをしたりと、大人の趣味を始めました。とにかく、健康第一ですので、皆様も体調を崩さないようにご自愛下さい。

手術や入院が必要な方も時々見つかるようになりましたので、これからもよろしくお願いします。

診療所・病院の先生方へ── 地域医療連携室からのご連絡

MRIの共同利用ご案内

中信松本病院では他の医療機関からのMRI検査を承っています。
火曜日か金曜日（祝日は除く）に中信松本病院を受診していただく形となります。ご要望に応じて放射線科医師の読影結果をつけてお返しいたします。
☆予約受付は平日の8：30～17：15

その場で予約を確認したい場合は
中信松本病院
TEL0263・57・1955
（放射線科受付直通）にお電話ください。その場で予約ができます。
お電話のあと、「中信松本病院MRI検査申込書」に記載いただき地域医療連携室
FAX0263・86・1400
までFAXください。

特にお急ぎでない場合は
「中信松本病院MRI検査申込書」に記載いただき、地域医療連携室
FAX0263・86・1400
にFAXください。（土日祝にいただいたFAXは次の平日の対応になります。ご了承ください）
当院から紹介元機関と患者さんにご連絡し、予約をとらせていただきます。

共同診療について

共同診療は月～土曜日の9：00～20：00におこなっていただくようお願い致します。
主治医のスケジュールなどで、ご希望の時間帯にお受けできない場合もあります。その際は、連携室で調整させていただきますので、ご協力をお願い申し上げます。
事前に共同診療申込を頂いています。該当の病院の連携室まで電話、または「共同診療申込」用紙をFAXください。（平日の時間外、土日祝のFAXは、次の平日の対応となります。ご了承ください）

ご不明な点がありましたら、両病院の地域医療連携室までご連絡ください。

松本病院　〒399-8701 松本市芳川村井町1209
地域医療連携室直通電話 0263-86-2812
直通FAX 0263-86-2816
代表電話 0263-58-4567

中信松本病院　〒399-0021 松本市寿豊丘811
地域医療連携室直通電話 0263-57-2101
直通FAX 0263-86-1400
代表電話 0263-58-3121

勉強会のお知らせ

診療所の先生方とセンター医師合同の勉強会です。
毎月第３木曜日　内科・外科勉強会
松本病院第２カンファレンスルーム
19:00～20:00
松本病院

新任医師紹介

中信松本病院

呼吸器外科医長
近藤（こんどう） 竜一（りゅういち）
平成5年卒

■所属学会資格
・日本臨床外科学会
・日本消化器外科学会
・日本呼吸器内視鏡学会
・日本呼吸器学会
・日本胸部外科学会
・日本外科学会指導医
・日本外科学会外科専門医
・日本呼吸器外科学会評議員
・呼吸器外科専門医
・日本がん治療暫定教育医

■専門
・呼吸器外科

以前、旧国立松本病院時代に外科研修をさせていただいたことが、懐かしく思い出されます。この度は、呼吸器外科専門医として地域の皆様によりよい医療を提供できますように努めたいと思います。よろしくお願い致します。

小児科
花村（はなむら） 真由（まゆ）
平成16年卒

■所属学会資格
・日本小児科学会
・日本小児感染症学会

まだたくさん勉強させていただくことがあると思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

整形外科
鈴木（すずき） 周一郎（しゅういちろう）
平成18年卒

■所属学会資格
・日本整形外科学会

よろしくお願い致します。

新任医師紹介

松本病院

内科（血液内科）
仁科（にしな） さやか
平成17年卒

■専門
・血液疾患

■所属学会資格
・日本内科学会
・日本小血液学会

7月よりこちらの病院でお世話になります。まだまだ未熟者ですが、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

第2回まつもと医療センター病院祭

「みよう、触れよう、感じよう、あなたに身近なまつもと医療センター」

今年は中信松本病院で開催します。

日　時／10月17日(土)10：00～15：00

たくさんの方々のおいでをお待ちしています！

健康教室のお知らせ

テーマ／認知症について
講　師／神経内科部長　武井　洋一
　　　　作業療法士　青子　哲也
場　所／中信松本病院第一会議室（2F）
日　時／7月6日(月)14：00～15：00

講演開始前に測定コーナーにお寄りください！骨密度（20名まで）、血圧、血糖、体脂肪の測定を無料で行います。
測定コーナー受付開始　12：30
測定　13：15～14：00

中信松本病院

●編集後記●

この編集後記、字数にすれば100文字程度なのですが、たかが100文字、されど100文字。なかなか指定字数に思いをしたためるのは、難しいもので。"伝えたい思いを簡潔に伝える"これには日々鍛錬が必要だな、と後記を書きつつ、そんな思いをふと巡らしています。（H）

まつもと医療センター
第　7　号　平成21年7月1日発行
発行人　院長　米山　威久
松 本 病 院
〒399-8701　長野県松本市芳川村井町1209
TEL.0263-58-4567　FAX.0263-86-3183
中信松本病院
〒399-0021　長野県松本市寿豊丘811
TEL.0263-58-3121　FAX.0263-86-3190
http://www.matubyou.jp/